やぶなべ会報

自然を見つめる「やぶなべ会」（青森）発行

誌　　名	やぶなべ会報
号/発行年/頁	32 / 2013 / 49　(再編集版)
タイトル	秋の観察会に青高生物部員も参加
著　者　名	五十嵐正俊

自然を見つめる やぶなべ会（青森）

秋の観察会に青高生物部員も参加

2012年9月9日、青森市新城の「森の広場」で第14回市民観察会が開かれました。

小雨決行と云うことで残念ながら雨模様の中での開催になりましたが、今年初めて青高生物部員3名の参加が有りました。生徒たちは雨の中、自転車で来てくれたのです。顧問の高谷悟先生は野球部の顧問もやっておられるそうで当日は試合もあり、そちらへ行かざるを得なかった様でした。

写真1　トリノフンダマシの卵嚢（左下）と親グモ（上）

当日は最初に「オオトリノフンダマシ」という少し変わった「クモ」をスライドで紹介し、参加された皆さんに探して貰いました。幸い卵嚢を見守りながら近くに潜んでいる親蜘蛛も見つけることが出来ました。また、小さい子供らは雨合羽を着ていながらバッタやコオロギを捕まえては「コレ、ナーニ」と楽しそうでした。

当日はバスを利用される方を考慮して1日3便しかない岩渡線のバス時間に合わせた時間帯の設定にして見ました。バスを利用された方は3名程でしたが車で参加された方とスタッフを含めて28名の参加でした。

（第3代　五十嵐　正俊）

写真2　観察会参加の皆さん（一部）。青高生物部員が2名写っている。